

1 面接週間を終えて

朝自習 朝課外

今年度2回目の面接週間を終えて、みなさんに共通したことで気付いたことをあげてみます。

1. 学習時間の確保

部活動で忙しい人も、毎日1時間半は勉強してほしいです(理想的には3時間以上、休日は5時間以上)。疲れて寝てしまうなら、夜型から朝型にシフトチェンジするのもいいかもしれません。部活動を言い訳にするのはやめましょう。みんな条件は同じです。朝、昼休み、帰宅後というように、細切れの時間でもいいので、勉強に向き合う時間を作り出しましょう。

2. 課題の提出

提出物は成績に大きく影響します。特に2学期中間考查で赤字だった教科がある人は、テストの復習をしっかり行うとともに、提出物を期日を守って提出しましょう。未提出のものがあれば、できるだけ早く提出すること。その際、担当の先生に、直接手渡して、見ていただけるようお願いしましょう。

3. 進路希望先の研究

具体的な目標があると、勉強に対するモチベーションが上がります。今後どんな勉強が必要なのか、受験方法や科目も調べておいてください。

11/ 8	月		読書	
9	火		数	数
10	水	⑥⑥ JICA 国際理解講座 進路希望調査	国	国
11	木	SC来校	英	英
12	金		社	
13	土	教検②		
14	日			
15	月		読書	
16	火		数	数
17	水	⑥⑥小論文講演会 朝食調査	国	国
18	木		英	英
19	金	↓	社	
20	土			
21	日			
22	月		読書	
23	火	勤労感謝の日		
24	水			
25	木	SC来校		
26	金			
27	土			
28	日			
29	月	職員会議		
30	火	期末考査		
12/ 1	水	↓		
2	木	↓		
3	金	↓		

2 JICA国際理解講座 11月10日(水)

本校 ESD における国際理解教育の一環として、JICA 青年海外協力隊の方々から各国の文化、環境、現状等の説明を受け、多文化・異文化への興味関心を高めるために、4人の講師の先生方をお呼びして講演を聴きます。先日希望調査を行ったとおり、当日はそれぞれ2講座を聴くことになります。

講演内容 『各派遣国における青年海外協力隊の活動について』

講師 岡田卓也さん(ウズベキスタン 青少年活動)
大槻美佳さん(モンゴル 作業療法士)
笹尾員統さん(ボリビア 環境教育)
後藤祥与さん(フィジー 栄養士)

日程 13:10~13:20 (10分) 移動
13:20~14:10 (50分) 講演①
14:10~14:20 (10分) 移動
14:20~15:10 (50分) 講演②
15:15~15:30 (15分) SHR・感想記入



3 小論文講演会・小論文模試

11月17日(水) 5・6校時に、外部講師による小論文講演会を実施します。これは、翌週24日(水)の5・6校時に行う小論文模試に向けて、なぜ今小論文を学ぶ必要があるのかという疑問に答え、実際に書き上げていくまでの手順を学ぶためのものです。

①小論文講演会 11月17日(水) 5、6校時 於：二本松福祉センター 3F会議室

講師 平田先生(学研アソシエ講師)

13:05	移動開始
13:25	着席完了(クラスごと、出席番号順)
13:30	講演会開始
14:50	講演会終了(質疑応答含んでの80分)
15:10	現地解散

*持参物…筆記用具、プリント(当日の朝、配付)、靴を入れる袋(レジ袋など)

*福祉センターは靴を脱いで入ります。靴下で歩きますので、上履きは必要ありません。

*各クラスの美化係は、終了後使用した部屋の簡単な清掃を行いますので残ってください。

②小論文模試 11月24日(水) 5、6校時 於：各クラス(出席番号順に着席する)

問題：次の文章を読み、あなたが考えたことをたて書き・六〇〇字以内で述べなさい。(問題文 略) (榎本博明『〈自分らしさ〉って何だろう？自分と向き合う心理学』ちくまプリマー新書より)

模擬試験の時間は50分ですが、中途半端で提出しても意味がないので、しっかり最後まで仕上げ提出すること。そのために、LHRの時間も確保しています。時間内に書き終わった生徒は、各自6校時終了まで自習してください。

4 期末考査 11月30日(火)~12月3日(金)

期末考査まで約3週間となりました。中間考査の不振を挽回しようという人、あと少しの点数アップで一つ上の評価を目指す人、テスト勉強を始めましょう。今回は、家庭基礎、保健もテスト科目になるため、より早く始め、多くの時間をかけて十分な準備をしてください。

2学期の成績は、中間・期末考査と提出物などの平常点を合わせた総合評価となります。課題の提出は、期日を守って確実に行ってください。

